

活動状況報告（10月）

学生留学コース 5期生 藤原 香夏

エドモントンは朝晩の気温が氷点下となり今月の下旬には初雪が降り、街は冬景色となりました。冬は好きですが、気温が -30° になる非常に寒い冬がまたやってくると思うとあたたかい夏が恋しくなる今日この頃です。

さて、今月は中間試験がありました。試験の形式は、対面式またはオンライン、教科書の持ち込み可否などは授業により異なります。私が履修している授業では対面、教科書の持ち込みは不可という規定で試験が行われました。試験までの期間は、寮の自室や、友人と図書館で授業内容をまとめたノートを作成し、大学の学生用のウェブサイトにアップロードされた授業内容のクイズを何度も何度も繰り返し解きテストに備えました。

キャンパス内には図書館が2つあり、そのうちの1つは一部エリアが学生は24時間利用可能で、図書館の他にもフードコートのようにファストフード店と自習スペースが混在している建物がいくつもあり、それらの建物にも学生であれば24時間アクセスできます。

多くの学生がそれらを利用しますが、試験期間中はどの場所も空いている席を探すことが難しいほど朝から夜まで混雑しており、学生の学習することへの意欲の高さを痛感します。アルバータ大学では試験だけでなく、定期的な課題の提出やチャプターごとにクイズが出題され、その結果が成績に反映される授業がほとんどです。カナダでは1つの授業の講義が週に2回もしくは3回あり、日本のよりも授業の進度が早く、そのなかで数週間に1回のペースで課題提出やクイズがあるので、授業内容を常に理解するために多くの学生が自主学習をしている印象です。

試験当日はこれまでの人生で受けてきた多数の試験とは比較にならないほど緊張しました。これまでの経験上、多少緊張する場面がきても緊張を楽しむことができていたので、そのような状態になった自分自身に驚きましたが、試験が開始すると緊張もほぐれ集中することができました。

試験結果は自身で設定していた目標点を超え、勉強した結果を点数として出すことができました。ただ、記述式の問題では解答として説明不足の箇所があり中間点しかもらえないなど、悔しい部分もありました。今回の中間試験で試験の傾向や雰囲気をつかむことができ、試験までの勉強方法に改善が見込めると感じたので、期末試験に向けさらに精進していきたいと思います。

引き続き皆様のご支援、応援の程よろしくお願い致します。

